

令和7年度 中地区 幼保小教育交流事業活動報告

【活動テーマ】

「子どもの育ちと学びをつなぐ
幼保小交流の推進」

【活動テーマについて】

区内における幼保小の交流を中心とした連携をさらに推進し、架け橋期に安心して自己を発揮できる子どもの姿を目指す。

【交流事業対象の園・校数】

● こども園	2園
● 幼稚園	13園
● 保育園	27園
● 小学校	10校

【年間活動報告】

月日	活動内容	場所
5月 8日	委員長・副委員長会	山元小学校
6月17日	中地区幼保小総会・第1回実行委員会	山元小学校
9月 9日	第2回実行委員会	山元小学校
11月 5日	保護者・地域と学ぶ健やか子育て講演会 講師:田園調布学園大学 教授 内藤 知美 様	横濱中華學院
1月23日	架け橋プログラム 座談会 カリキュラム推進地区の実践提案から 講師:和泉短期大学 教授 松山 洋平 様	山元小学校
2月24日	中地区幼保小全体会	山元小学校

※幼保小の交流活動は、各小学校ブロック内で実施

【活動報告①】 健やかな子育て講演会



講師：田園調布学園大学子ども教育部子ども教育学科教授(学部長)
同大学院人間学研究科子ども人間学専攻教授
内藤 知美先生

演題：《健やかな子どもを育む「つながり」とは》
～園・学校・家庭・地域～

つながりによって支えられる「安心の社会」

- ・個人としての子どもの成長を強化する方向だけでなく、子どもをつながりの中で育てる
- ・子どもの幸せ(ウェルビーイング)を考える
- ・個としての成長は、他者との関係性の中で育つ

子どもへの大人のまなざし

子どもの姿から子どもに対する理解を再考してみよう

<どろだんご>

4歳児の園児が初めてどろだんごを丸く作れました。



先生は丸く作れたどろだんごを写真に撮ろうと言いましたが、園児はどろだんごを作った汚れた手を撮って欲しかったようです。

(子どもは結果よりプロセスを見て欲しい)

【活動報告②】 架け橋プログラム 座談会

カリキュラム研究推進地区の実践から ～山元小学校・竹之丸保育園の取組～
子どもの「育ちと学びの連続性」を育むための環境づくりをいっしょに考えませんか？

講師 和泉短期大学 教授 松山 洋平 先生



山元小学校

昇降口からベランダに靴箱を移したら、校庭や畑への移動も早いよ。天気や外の景色の変化にもすぐ反応できるよ。



竹之丸保育園

室内環境を変更して、テーブルの台数を少なくし、広いスペースを確保したよ。製作活動にも集中できるようになったよ。

心を動かされる経験が大切で、まわりで起こっている事象にタイムリーで出会うことが、「驚き」「感動」の心情を育てることにつながります。

ものの側からみている考え方が重要で、それを「アフォーダンスの理論」といいます。

思わず対話したくなる環境を構成することで自然と会話が生まれます。

これまでの考え方を柔軟な視点で環境を見直してみましょ。もしかしたら「べきべきお化け」になっているのかも…



間門小ブロック活動報告

ルンビニ幼稚園 本牧めぐみ幼稚園 アスク本牧保育園 太陽の子不動下保育園 錦保育園高風保育園 和光幼稚園



一回目の交流では、「どんぐりまつり」に園児さんたちを招待しました。どんぐりや落ち葉を使って「ゲーム屋さん」や「かざり屋さん」などのお店を開きました。店員さんになりきって、ゲームのルールを教えてあげたり、一緒に遊んだりしながら交流を深めました。



二回目の交流では、92名ものたくさんの園児さんが参加してくれました。最初に1年生から合唱を披露しました。園児さんからあたたかい拍手がもらえて1年生はとてもうれしそうでした。合唱の後は、紙皿を使ったくるくるコマに絵をかいたり、一緒に遊んだりして仲を深めました。



三回目の交流では、「学校案内」を行いました。1年生は、園児たちに学校のことをもっと知ってほしい！という思いでクイズラリーをしたり、やさしく学校のことを案内したりしていました。最後には「4月にまつてるね！」とメッセージを送りました。

本牧小ブロック活動報告

本牧小学校

アスク本牧保育園

すいとぴー保育園

本牧めぐみ幼稚園

ルンビニ幼稚園

和光幼稚園

公園での交流

私の保育園だよ。
来年の1年生だね。
「一緒に遊ぼう」って
誘って見たらどうかな？



きっかけづくり

交流する意味をもつことが
できるように、意図的に公園
で出会う場をつくった。子
どもたちが主体的に関わる
ことができるようにすることが
大切である。



また一緒に遊ぼう。

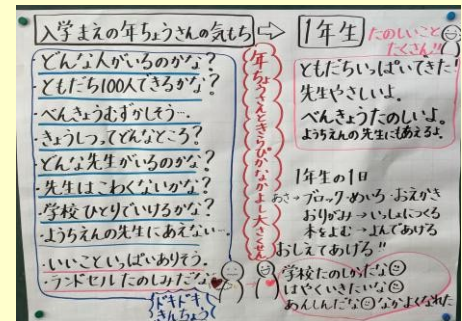


楽しかったね。
また交流できるかな？
聞いてみよう。

少しでも楽しいと思って
もらいたいな。
安心して学校に来てもら
いたいな。



振り返りから



わくわく ちょっぴり 1ねんせい会



わくわく ちょっぴり 1ねんせい会

〇いっしょにやってみよう

- ・いすにすわる。
- ・いっしょにあそぶ。

おりがみ、おえかき

〇学校のことをおしえよう。

- ・べんきょうのこと
- ・きゅうしょくのこと
- ・休みじかんのこと
- ・トイレのこと

園と学校との生活や環境を思い出し、小学校に
来るのが楽しみになるようにしたいという思いを
もちました。給食の写真を撮って見せたり、休み
時間のことをクイズにしたりして学校の様子を伝
えました。名前を書いてプレゼントをしました。

塗り絵やブロックが楽
しかった。小学校に行くの
が、楽しみになったよ。



楽しんでくれてよかつた。
2年生になっても、
もっとやさしくしてあげ
たいな。



令和7年度 幼保小教育交流事業 本牧南小学校ブロック

1 交流園

ルンビニ幼稚園、錦保育園
和光幼稚園、高風保育園

2 年間活動と活動内容

<10月>

・運動会練習の見学
(本牧めぐみ幼稚園)

<12月>

・1年と大なわ(ルンビニ幼稚園)
・3年生とカルタ
(錦保育園、ルンビニ幼稚園)

<1月>

・5年生とわら縄作り
(ルンビニ幼稚園)
・3年生とカルタ
(高風保育園、本牧めぐみ幼稚園、
和光幼稚園)
・1年生の教室で学習体験
(和光幼稚園、本牧めぐみ幼稚園)
<2、3月実施予定>
・4年生がパペット劇を上演
(和光幼稚園、ルンビニ幼稚園、
アソカ幼稚園、木下の保育園)
・5年生と給食交流
(和光幼稚園、ルンビニ幼稚園、
高風保育園)

3 活動の様子



1年生の教室で、机に座ってもらい「しよしゃ」のプリントでなぞりがきをしました。鉛筆の持ち方や姿勢などを一年生が優しく教えてあげました。はなまるをもらって嬉しそうにしていました。

3年生がカルタ遊びに招待しました。札がたくさんとれたかな。



5年生とわら縄づくりをしました。みんなで協力してうまくできたかな。



中休みに全校なわとびに1年生と一緒に参加。1年生や6年生のお兄さんお姉さんに、跳び方を教えてもらいました。

4 成果と課題

成果

- ・1年生にとって、園児と一緒に活動することは、楽しいだけでなく、小学生としての自信をつけたり、自分の普段の行動を振り返ったりするよい機会となった。
- ・いろいろな学年の子どもたちが園児と関わったことで、小学校全体が「新しく入学してくる1年生をあたたかく迎えよう」という気持ちになった。

課題

- ・交流したい学年が多かったが、校内で調整を行い、もう少し計画的に進めることができればよかった。
- ・遠い園もあり、交流できる機会が少なくなっている。普段の学校の様子を園児に見てもらえれば、入学への不安も少し和らぐのではないかと考えている。そのためにズームなどのICT機器を活用できるとよいと思う。

B ブロック

(大鳥小学校・アソカ幼稚園・木の下保育園本校・早苗幼稚園)

今年度の最初に、小学校と園とでやりたい交流内容について共有し、年間を通して計画的に交流を行った。

①(子ども同士の交流)1年生と年長児の交流…クラスごとに3園と交流をした。担任同士で連絡を取り合い、どのような交流内容にするか話し合い、ペアを決めて交流を行った。

早苗幼稚園との交流



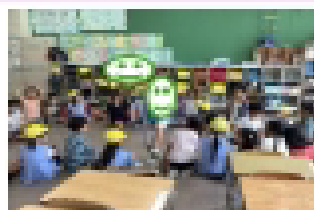
早苗幼稚園の年長児と一緒に楽しむことをめあてにお祭りを計画した。事前の準備では1年生が年長児との関わりを意識した店作りを、幼稚園・保育園の経験をもとに行なった。当日は1年生が優しくやり方を教えたり、年長児から質問や要望を受けたりした。

アソカ幼稚園との交流



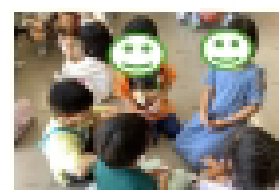
「年長児に笑顔で楽しんでほしい」という思いをもって活動した。爆弾ゲームやブルーピングゲームを通して、1年生が年長児に優しく声をかける姿が見られた。また、帰り際には、年長児から1年生に話しかける場面も見られた。

木下の保育園本校との交流



「校庭で年長児と一緒に遊びたい」という思いから、かけっこと遊具遊びをすることになった。また教室では、爆弾ゲームやジェスチャーゲームを行った。年長児が答えやすいように、分かりやすい問題を考え、当日は楽しく交流することができた。

②(子ども同士の交流)1年生と年長児の給食交流…給食と一緒に食べる交流を行った。



はじめに学年で体育館に集まり、かもつ列車を行った。その後各教室に行き、ゲームなどをして交流の時間を作った。給食に、最初は戸惑う様子が見られた年長児もいたが、1年生と一緒に食べるなかで、苦手であれば残していいことや、もっと食べたいときはおかわりもできることなどを知り、安心して給食を食べる様子が見られた。

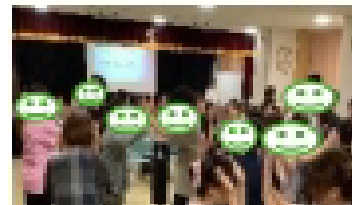
③(子ども同士の交流)2月に実施予定

1年生と年長児の交流…3園を招いて「学校のことをおしえるねの会」を開いた。入学が近づいた年長児に、1年生の学校生活のことを教えるための会を、各学級から選出した実行委員を中心に準備を進めた。

④(学校行事への参加)

合同避難訓練…小学校での避難訓練のタイミングで、木下の保育園も一緒に訓練を行った。地震が起きたときに、実際にどのように行動すべきか考えながら活動することができた。

⑤(職員同士の交流)小学校と3園との研修会…8月に、架け橋期の子どもの姿について理解を深める研修を行った。前半は職員同士の交流を通して、互いをよく知ることができた。後半は園の実践報告を通して、園での子どもたちが、どのような活動をしているのかを知るよい機会となった。



学校と保育園との連携

9月に、保育園からの小学校へのアプローチカリキュラムや小学校のスタートカリキュラムについて共有しました。それぞれの立場で、大事にしていることを話し合うことができ、より潤滑な接続になるための共有ができました。

また、保育士が、小学校への授業参観や朝の読み聞かせの参加をすることで、小学校生活を見通すことができました。

個別支援学級 生活・総合 「染めもの名人になろう！」

山手保育園の年長・年中児が、北方小学校個別支援学級の子どもたちが作った染め物に興味をもち、交流がスタートしました。染め方や染め物について話をし、交流しました。

北方小学校へ ようこそ



【1年生との交流】

1年生3クラスでペアとなる園を決め、各クラスの計画で交流しました。1回目は、11月に、一緒にチューリップの球根を植えたり、一緒に遊んだりして、交流をしました。

2回目は、1月に、「今度1年生になる年長児が安心できるように」と、1年生なりに考え、学校案内をしたり、一緒に過ごしたりしました。

1年生の振り返り一部抜粋

ぼくは、ねんちょうさんと学校たんけんや
いろおもにやりました。ぼくは、おにいちゃん
になったなあとおもいました。



ぼくは、はんかちおとして ほういくえんのこが
たのしんでくれたので、うれしかったです。いろん
なばしよをあんないしたので、おぼえてくれてたら
うれしいです。



【5年生との交流】

1年生と同様に、5年生3クラスでペアとなる園を決め、各クラスで年長児と交流しました。5年生は来年度6年生となり、1年生とペア学年になります。2月に「豆まき」交流をしました。5年生がおにになり、年長児がおにに豆を投げて楽しみました。

5年生の振り返り一部抜粋

保育園児が楽しんでいる姿を見て、わたしたちもそんなことがあったなあと自分の幼少期のときのことを思い出せました。また、自分たちよりも年上、年下の人たちと交流する機会があったら、年下の場合は、今回のような思いやりのある行動を行い、年上の場合はしっかりと相手の話を聞いて行動しようと思います。

僕は、保育園交流をしてみて、保育園生に優しく積極的に話しかけることができました。ペアの子も「楽しかった!!」と言ってくれたので、僕もうれしくなりました。これからは、新しい一年生が入ってくるので、優しく積極的に話しかけたり遊んだりして交流していきたいです。

山元小ブロック活動報告

山元小学校 山元町保育園 保育園ばんびーな 打越保育園 竹之丸保育園 さゆり幼稚園

秋であそぼう

【打越保育園】 【竹之丸保育園】
【保育園ばんびーな】

みんなで遊ぼう！仲良くなろう！

【竹之丸保育園】

球根を植えてなかよくなろう

【さゆり幼稚園】

小学校紹介会

【山元町保育園】



根岸森林公園での出会いから、保育園や幼稚園との交流が始まりました。生活科の秋遊びで取ったどんぐりなどを園児のみんなと制作遊びをしたいという話になり、交流しました。

次は、広い校庭で遊んでみたいという年長さんの意見から校庭遊びへと発展しました。

校庭遊びでは、だんだん仲良くなって来たことから、園児の数と小学生の数が同じもしくは少なくなったとしても遊べるようになっていました。

中で遊びたい子に合わせて柔軟に活動が展開できるように、子どもたちには時間の見通しだけを持たせて、自由に活動できるようにしました。

自分たちが植えた球根は、年長さんが入学したら咲くかもしれないね、という話から、年長さんにも育てさせてあげたいということで球根の活動へと発展しました。

生活科で培った花の栽培や球根植えの経験から優しく教えている姿が見られました。園児の皆さんも、よく聞いてくれて共同作業をすることができました。

○交流にむけて

- ・メールや電話で連絡を取り合い交流の計画、実施をした。
- ・日程調整と活動内容の希望など→交流内容の決定、連絡→交流→交流後の様子の共有、次回の予定について打ち合わせ

○園の職員による授業の参観交流

- ・今年度は、スタートカリキュラムの授業公開を園の先生方にも公開し、入学後の様子を見ていただいた。
- ・小学校の職員は、夏休みと秋に普段の活動の様子を見せていただいた。
- ・来年度、職員同士の交流や見学会などを計画していきたい。

環境構成の取組

【竹之丸保育園】



・今年度は、推進地区のカリキュラム研究をしていたので、竹之丸保育園とは、小学校の環境構成の研究を合同で行なった。1年生の昇降口をベランダの窓へと変更し、子どもたちの活動の広がりや園児の安心感の助長など大きな学びとなった。

立野小ブロック活動報告

立野小学校 さゆり幼稚園 竹之丸保育園

保育園見学
【竹之丸保育園】

夏に就学前の子どもたちがどのような環境で、どのように過ごしているのかを初任の先生を中心に見学させていただきました。園では、最高年齢として頑張っていること、自信をもっていろいろ楽しんでいる年長さんの姿を見ることができました。この見学で得たことを学校生活や学習に生かしたいと思いました。

秋となかよし
【竹之丸保育園】

秋に森林公園でちょこっと交流を行いました。公園の秋を1年生も年長さんも一緒に体いっぱい楽しむ姿が見られました。大きな黄色い銀杏の木を見て、一緒に「すご〜い」と秋を感じました。

一緒に秋と遊ぼう
【竹之丸保育園】

12月に1年生が秋とたくさん仲よしになったことを、年長さんにも伝えたいという思いをもって、年長さんを学校に招待しました。自分たちが秋と楽しんだことを紹介したり、一緒に遊んだりして、みんなで秋を楽しみました。

学校のことを伝えよう
【竹之丸保育園・さゆり幼稚園】

1月に1年前の自分の思い出し、今の年長さんのドキドキわくわくを楽しみのわくわくにしたいと思い、学校のことをお知らせする会を開きました。当日は、学校たんけんで学んだことをクイズでお知らせしたり、学校体験を年長さんがしたりして、学校へのわくわくを高めました。一緒にお正月遊びを楽しみ、さらに仲よしを高めました。

音楽会见学
【竹之丸保育園】

5年生となかよし
【竹之丸保育園】

など

本町小ブロック活動報告

本町小学校 1年1組・2組・・・クラウン保育園・ララランド伊勢佐木保育園・マイハート紅葉ヶ丘保育園・ことぶき保育園・寿福祉センター保育所
1年3組・4組・・・アスク馬車道保育園・聖母幼稚園・スターチャイルド桜木町ステーションナーサリー

1年 公園での出会い



公園探検の際に偶然の出会いを演出しました。1年生は懐かしい帽子を見て、どきどきしたり少しそわそわしたりしていました。園の名前を聞くと近くの保育園だということを知り、「これから仲良くなりたい」「一緒に遊びたい」などの思いをもちました。

1年 園での交流



「園に行き、一緒に遊びたい」と年長さんのクラスにお邪魔しました。子どもたちは「このおもちゃ、懐かしい」「前に遊んだことがある」と一緒に楽しく過ごしました。運動会の演技「ソーラン節」を見せてもらい、手拍子や掛け声をかけて盛り上げていました。

1年 あきまつり



公園探検で見つけた秋のお宝で秋まつりをしました。「年長さんとも遊びたい」と声をかけました。「こっちで遊ぼう」「紙をおさえるね」など、優しく声をかけ、お兄さんお姉さんであることを意識しているようでした。年長さんが「楽しかった」という声を聞き、嬉しい気持ちになり、これからも仲良くなりたいという思いをもちました。

1年 チューリップ球根植え



来年度小学生になる年長さんと一緒に小学校のプランターにチューリップの球根を植えました。また、小学校に遊びに来た時に様子を見たり、生長と一緒に観察したりすることができるようになりました。水やりは1年生が休み時間に進んで行いました。

・本校は西区と中区にまたがっている学校でDブロック以外の園とも交流している。そのため交流園が多いので、今年は各クラスごとに担当園を決め、一年を通して交流をしていくようにした。そのため、各クラスごとに交流の回数や内容が異っている。

・生活科の学習を中心に、園の先生と相談したり子どもたちの思いを大事にしたりしながら交流を行いました。1年生だけでなく、年長さんの話を聞き一緒に活動できるようにしました。

<主な交流>

- ・公園での遊び
- ・秋あそび・秋まつり
- ・チューリップの球根植え
- ・小学校は楽しいよの会(2、3月) など

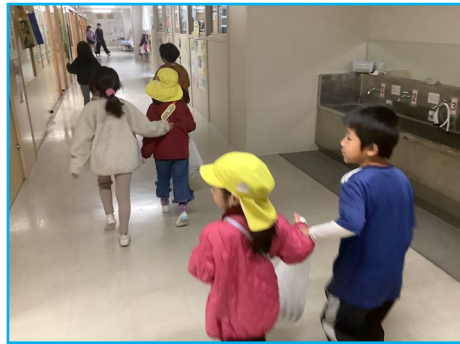
<交流に向けて>

- ①園へ交流の希望調査
- ②子ども達の思いを伝え合う
- ③メールやFAX、電話にて場所や日程調整
- ④年長さんの思いから児童が計画
- ⑤計画後、連絡をとる
- ⑥交流実施後、次回交流の打合せ

みなとみらい本町小ブロック活動報告

みなとみらい本町小学校 にじいろ保育園みなとみらい みなとみらいくばがさ保育園
キッズパートナーみなとみらい 京急キッズランド ポピンズナーサリースクールみなとみらい

わくわく小学校探検！



園児が抱いている「小学校ってどんなところかな」「何があるのかな」という疑問や不安を期待と安心に変えるため、園児と児童を小グループに分けて、学校探検を行いました。緊張していた園児の表情にも、活動が進むにつれて笑顔が見られるようになりました。「また絶対に小学校に来たい。」と振り返る園児もあり、次の交流へ向けて意欲の高まりが見られました。

秋となかよし大作戦！



生活科の学習で、身近な公園に繰り返し探検に行き、色鮮やかな落ち葉やどんぐりなど、「秋の宝物」をたくさん見つけました。これらを使って遊びをたくさん考えました。交流している園児と一緒に楽しみたいという思いを募らせ、「秋のおもちゃランド」に招待しました。相手意識をもって遊びを紹介したり、ルールや約束を守って「一緒に楽しむ」ことのできるよさを実感しました。

絵本で友達



小学校の図書室にて、1年生と園児による交流を行いました。1年生が園児に優しく話しかけたり、相手の好みを考えて絵本を紹介したりと、相手を思いやる姿が随所に見られました。園児たちは、図書室の蔵書の多さに驚き、目を輝かせながら大型絵本を囲んで楽しんでいました。活動を通して、園児は小学校への期待感を高めることができました。

〇交流計画について

・年度の初めに小学校で職員が顔合わせをする場をもちました。幼保小の取組を通して「どんな子供たちを育てたいか」や、同じ地域の園と学校で継続して「つながりをつくっていく」ことについて共有を図りました。

・交流の全体計画(時期や回数など)を年度初めに設定し、具体的な計画は担当者間でメールを中心にやりとりを行いました。

〇園の職員による給食見学

・「入学に際して給食に不安を感じる園児のフォローアップがしたい」との意見を反映し、小学校の給食見学の取組を行いました。(3園、6名の職員が見学をしました。)

・園の職員が、小学校の給食の流れや子ども達の姿を見ることで、園児への指導や保護者へ情報共有をする際に役立ったとの声をいただきました。

元街小ブロック活動報告

元街小学校 横濱中華幼保園 横浜三育幼稚園 横浜みこころ幼稚園
横浜学園附属元町幼稚園 アメリカ山徳育こども園 ラフ・クルー元町保育園 アスク山下町保育園
うちゅう保育園やました 木下の保育園山下町



あきとあそぼう

～ようこそ あきあそびワールドへ～

生活科の学習で、秋の遊びを思いっきり楽しんだことをきっかけに、園児を招待し、一緒に遊びたいという思いをもちました。年長児に楽しんでもらえるように、という視点をもって、遊び方や紹介の仕方を考えて準備をしました。当日は1年生も年長児も笑顔で秋の遊びを楽しむ姿が見られました。

元街小学校の1年生体験をしよう！

2月下旬に予定している幼保小交流会では、「1年生体験」を行う予定です。来年度1年生になる年長児に小学校のことを教えることで、学校の楽しさを伝え、安心して入学できるようにしたいと考えています。授業の様子や給食、掃除の仕方を紹介したり、音読を発表したり、1年生と年長児と一緒に歌を歌ったりすることを計画しています。もうすぐ2年生になる1年生児童にとっては、下級生との接し方を学ぶ貴重な機会となります。お互いに有意義な交流会となるよう、準備を進めていきたいと思っています。

職員間の交流として、園の職員が小学校の授業を参観したり、園と学校のカリキュラムを共有する情報交換会をしたりしました。

今年度は、新たな試みとして、給食試食会を行いました。園の先生方が小学校の給食の様子を見学したり、栄養職員から話を聞いたり、実際に配膳・試食をしたりしました。入学後の給食を心配している園児や保護者も多いとのことなので、先生方から給食の様子をお話いただくことで、園児の不安を解消するきっかけになればいいと思います。

園と学校との情報交換会では、各園で大切にしていることや就学前にできるようになっておくことよいことを共有しました。

【成果と課題 来年度に向けて】

- 中地区での総会を年度初め年度末と2回行い、幼保小連携事業の内容を周知し、各ブロックごとに交流についての情報交換や幼保小との交流の内容を具体的に話し合うことができた。
- 子育て講演会、座談会を通して、区内全体での共有もできた。

- 講演会の参加人数の確保の難しさを感じた。
内容は好評だったので、より多くの人に参加してもらうにはどうしたら良いか考える必要がある。
- ブロックの垣根を越えて幼保小の交流をしていきたい。